

## 届出外排出量に係る推計手法の検討状況について

## 1. 経緯

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」第9条に基づき、経済産業大臣及び環境大臣は、平成14年度以降、対象事業者から届け出られる排出量以外の対象化学物質の環境への排出量（以下「届出外排出量」という。）を算出（推計）することとされている。

経済産業省及び環境省においては、平成9年度のPRTTRパイロット事業の開始と同時に試行的な推計作業を実施するとともに、平成11年度以降、民間調査機関と協力しつつ、推計のベースとなる基礎データの収集や推計手法の開発など各種の調査研究を行ってきたところである。

本年度についても、平成14年度の法施行後初めての公表に向けて、より精度の高い推計が可能となるよう、届出の対象となっていない事業者、家庭、移動体などそれぞれの排出源の類型毎に、有識者による検討会を設置して検討を行うこととしている。

## 2. 本年度の作業予定

本年度は、以下について有識者による検討会を実施して、推計手法の確立・改善に係る検討を実施する。なお、これらの会合については、営業秘密に関わる情報などが取り扱われない限り、審議内容を一般にも公開する予定。（検討会委員の一覧は別紙参照）

## (1) すそ切り事業者排出量推計方法検討会

（検討事項）

対象業種に属する事業を営むが、従業員数や取扱量の要件を満たさないため届出の対象にならない事業者からの排出量の推計

- ・業種別推計対象物質の絞り込み
- ・業種別・物質別取扱量の推定
- ・業種別・物質別排出係数の設定
- ・業種別事業所数の推定

## (2) 非点源排出量推計方法検討会

（検討事項）

上記以外（家庭、移動体など）からの排出量の推計

< 農薬関係 >

- ・公園等における農薬使用の実態把握
- ・補助剤等の実態把握 など

< 化学物質製品関係 >

- ・発生源と対象化学物質との対応関係の精査
- ・排出状況等の実態把握
- ・実測結果による排出係数等の設定 など

< 移動発生源関係 >

- ・排出係数の見直し
- ・燃料の蒸発に伴う排出量の推計 など

## 3. スケジュール

平成13年	秋以降	数回程度、検討会を開催
14年	2月以降	とりまとめ
14年	4月～	推計作業を開始
14年	秋以降	届出事業者からの排出量情報の集計結果と併せて、推計結果を公表

検討会委員

(1) すそ切り事業者排出量推計方法検討会

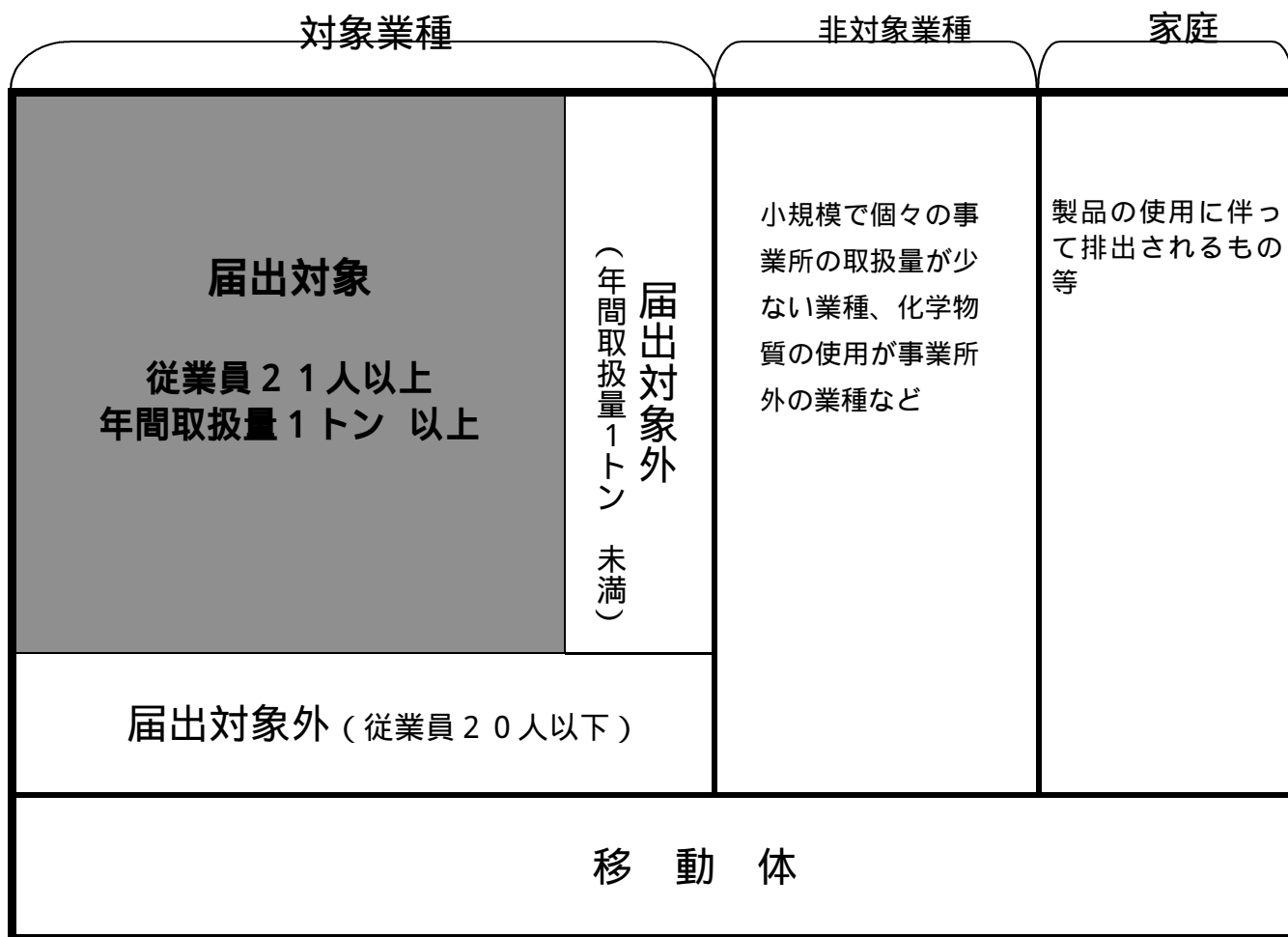
委員長：亀屋 隆志（横浜国立大学）  
委員：岩崎 学（成蹊大学）  
委員：大歳 幸男（旭硝子（株））  
委員：神山 敏（（財）日本システム開発研究所）  
委員：渡辺 一法（神奈川県）  
委員：山室 朗（（社）日本化学工業協会）  
委員：佐藤 興（化学安全技術研究所）

(2) 非点源排出量推計方法検討会

座長：岡田 光正（広島大学）  
委員：井上 隆信（岐阜大学）  
委員：河瀬 惠信（（社）日本化学工業協会）  
委員：鈴木 規之（独立行政法人国立環境研究所）  
委員：瀬戸 博（東京都立衛生研究所）  
委員：外岡 豊（埼玉大学）  
委員：藤井 敏男（愛知県）  
委員：星川 欣孝（ケミカルリスク研究所）  
委員：森口 祐一（独立行政法人国立環境研究所）

(参考)

P R T R法による集計対象排出量の構成 (イメージ図)



当初2年間は5トン

あくまでイメージ図であり、面積比が排出量の割合を示すものではない。